

要 約

人間の行動変容には報酬、すなわち強化子が強く影響する。近年若者の間で繁用されている、日本語における「かわいい」という言葉は非常に多義的な意味を持ち、定義が曖昧であるにも関わらず、褒め言葉として受け取られ、言われた側の行動変容に結びつきやすい。そこで本研究は、強化子としての「かわいい」に注目し、「かわいい」がポジティブな印象を有し、褒め言葉として機能する要因を検討することを目的とした。調査は予備調査と本調査の2回に分けて実施した。はじめに予備調査として都内の私立大学生69名を対象に、「かわいい」との比較に用いる形容詞を決定するための質問紙調査を行った。その結果、言われて嬉しい褒め言葉として、「かわいい」に次いで「やさしい」という言葉が選出された。次に本調査として都内の私立大学生71名を対象に、「かわいい」および「やさしい」と言われた際どのように感じるか自由記述を求めるとともに、多面的感情尺度によりその際の感情を測定した。その結果「敵意」因子に関してのみ「かわいい」が有意に高かった。また、自由記述により得られた形容詞をKH coderにかけて分析したところ、「かわいい」は「うれしい」および「はずかしい」「ありがたい」という感情を生起しやすいこと、特に女性は「うれしい」と「ありがたい」、男性は「うれしい」と「はずかしい」の結びつきが強いことが明らかになった。以上の結果から、「かわいい」は褒め言葉としてとりわけ特別な言葉ではないことが示唆されたが、「かわいい」と言われた際は「うれしい」、「ありがたい」などのポジティブな感情を生起させやすく、この点において「かわいい」が強化子として機能する要因が認められた。

Key words : かわいい, 褒め言葉, 強化子, 大学生